その芳醇さはどこから来るかという 来持っている風味がちゃんとある。 材の魅力はどんなところにあるのか

黒塚さんは吉田さんに、

山梨の

素

素材本来の味わい山梨のフルーツに

がある

を尋ねました。

一山梨の素材には、

フ

ル

ツが本



2009年3月まで6年間テレビ山梨でアナウンサーを 務める。同年4月よりTBSニュースバードキャスター。 山梨で過ごす間に、取れたてのフルーツや野菜のおい しさに目覚める。野菜ソムリエの資格を持つ。

まなしとの間で覚書を締結しまし 山梨の素材と縁の深い吉田さん 今年6月、 山梨県とJA全農や

作りに共に励んで頭に置きながら、

りに共に励んでい

喜んでいただけるか。そのことを念

山梨のおいし

ス精神です。

どうすればお客さまに

いても、

やはり大事なのはサ

いても、それを加工

販売することに

「農産物作りに

全山 王国に広めたい日梨の素材の良さを

黒塚まや さん

しくないはずがありません」 山梨には、 『日本お菓子

### 盆地特有の昼夜の寒暖差の大きい気 まれた条件で作られたフルーツがお か。日照時間日本一の太陽の恵み、 水はけの良い土壌。 やはり土地柄ではないでしょう これだけ恵 ばな

優れた果物や野菜が数多く 冊だけでは取り上げきれないほど りたいとのこと。 そうした素材を使って、

「今度はどんな素材が使われるの とても楽しみです」 と黒塚さん。

の素材を多く使うなみるんです。そのは

く使うようになっていま。その結果、自然と山梨

地のものを調達して食べ比べをして

「素材を選ぶ際は、

いろいろな産

続編を ありま 山梨の優れ 魅力を全国に発信してい 売を通じて、 どを積極的に使用したスイ 「今後はこれまで以上に意識して、 山梨の優れた農産物の

そしてさまざまなイ うにしたいですね。 山梨の素材をいろい 方は無限ですから、 素材はもちろん、 考えています 子に使っていこうと ベントを通じて、 ろな形で楽しめるよ ツ、粉末など、 ユレや乾燥フル より多くのお菓 使い 生の ピ

きたいと思います」 さを全国に広めてい 梨の素材の素晴らし 最後に吉田さんか Щ 期待を寄せます。

産物をさらに盛り立ててほしい」と 吉田さんのお菓子作りで、 塚さん。「素材の良さを引き立てる 梨の素材の新たな魅力を発見した黒 吉田さんの楽しい話を伺って、 山梨の農



## 【おひさまトマトの芳醇ゼリー】 サンサンと降り注ぐ陽光を浴びて育った山梨県 産トマトの甘み、酸味が引き立ちます。

その良さを引き出す素材と"会話"し

ミッシュ」本店を訪ねると、吉田さ んが山梨の素材を使った二つのスイ おひさまトマト ・ツを用意して迎えてくれました。 黒塚さんが東京・銀座の「ブ マトの甘みが凝縮されたゼリ 後から酸味も感じら の芳醇ゼリ は

どう引き出す 「地の恵み ス」は巨峰の甘みとチー 本来のおいしさが味わえる一品。 ツを開発する時は、 爽やかな味わ ツ作りは、 風の恵みの巨峰のム かが大事。 いが印象的です。 素材の良さを 素材とじっく 新しいスイ ズが溶け合

素材を使ったオリジナルレシピ集 さん。2年前、 それ以前からよく使っていたそう を出版しま 『日本お菓子ばなし 造力を駆使して挑みます」と吉田 り"会話"しながら、 したが、

野菜で満ちてい

やまなしブランド

Yoshida

パティシエ

吉田菊次郎さん

1944年東京生まれ。'70年に渡欧し、フランス、スイスで製菓修

業。'71年「第1回菓子世界大会」での銅メダルをはじめ、数々の賞 を受賞。帰国後「ブールミッシュ」創業。各種メディアなどでも活躍 し、著書はまもなく100冊を数える。2004年、国の「現代の名工・

卓越した技能者」に選ばれる。また、フランス政府の農事功労賞シ

ュヴァリエを受章。'11年6月、山梨県、JA全農やまなしとブールミッ

店舗以上を展開する洋菓子店「ブ

りに取り組んでいるのが、全国に100山梨の優れた素材を使ったスイーツ作

果物や野菜が生産されています。そんな

自然条件に恵まれた山梨では、多彩な

シュとの間で、県産果実を専属的に使用する覚書を締結した。

ツ

シュ」です。アナウンサ

&野菜ソム

ルミ

菊次

子作りについて伺いました。

まなしの巨峰

郎さんを訪ね、山梨の素材の魅力や洋菓

エの黒塚まやさんが、代表の吉

【地の恵み 風の恵みの巨峰のムース】 シャルロット(婦人の飾り帽を模したお菓子)の 中に、巨峰とチーズ味のムースをあしらってい ます。

# 想像力と創

山梨のさまざまな 山梨の素材は 山梨の巻』

### 日本お菓子ばなし 山梨の巻

編著《吉田菊次郎/編集協力》山梨県 (時事通信社刊)

んにエー

ルをいただ

ら山梨の農家の皆さ



『日本お菓子ばなし』シリーズ第1 作。吉田さんが、イチゴ、トマト、サクラ ンボなど山梨県産の果物や野菜を使っ て生み出した14種類のオリジナルスイ ーツを、カラー写真でレシピとともに紹 介。素材となった県産の果物や野菜、 お菓子にまつわるうんちくも満載。読ん で、作って、食べる楽しい一冊です。

3.シれあい